校長雑感　Soundscape
松本蟻ケ崎高校
第　７７　号
令和７年６月　４日

「合唱」とは、合わせて唱うことではなく「唱い合わせること」

Nコン課題曲講習会。総勢210名参加

室内楽部が同窓会総会で演奏披露しました

第35回吹奏楽部定期演奏会開催おめでとう！

標記は、東京混声合唱団創立者で指揮者の田中信昭さん（故人）の言葉です。6月1日 NHK合唱コンクール課題曲講習会において指導者としてお招きした作曲家の三宅悠太さんの指導の中で引用されました。三宅さんは合唱を経験する者であれば誰もが憧れる今を時めく若手作曲家で高校生も大好きな曲の数々を作曲されています。作曲家目線での曲の分析は見事で論理的に伝えられる展開の渦に会場全体は彼の引力に引き込まれる様相でした。本校生徒も密度の濃い有意義な時間を過ごすことができました。「唱い合わせること」。だからこそ合唱とは魅力に満ちたものです。心通わせ共有するその場の空気の動きを感じ色彩が広がっていく瞬間。早くも本校の合唱コンクールも楽しみになってきました●5月31日は同窓会総会。たくさんの同窓生を前に本年度は室内楽部が発表しました●同日、吹奏楽部の定期演奏会。昨年に続き参加できず残念でしたが大盛況に終わり生徒たちの成長を垣間見た時間であったと報告うけました。コンクール目指してがんばろう！●春の読書週間行事として国語科　長瀬先生の講演会「世界はきっと未来の中にある」は本のこと、先生自身の生き方のこと、素晴らしいお話だったと感想をいただきました（こちらも不参加。。残念すぎる）文化の香り漂う風景が各所で見られています